

「理科」授業のデザイン

授業者： 石川 章人

1 日 時 平成30年6月5日（火）5校時

2 学 級 1年 3組

3 題 材（単元） 葉のつくりとはたらき

4 本時の授業

(1) 目標

植物のからだのどこで、多く蒸散が行われているかを考えよう

(2) 授業の取り組み

前時に学習した気孔と蒸散についてさらに深く理解するために、実験方法を考案させたり、科学的に考えて蒸散量を求めさせたりしていく。

(3) 流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
①本時の課題と流れを確認する。	
<p>植物のからだのどこで、多く蒸散が行われているかを考えよう</p>	
②基礎の課題 ○どんな実験をすれば、植物のからだのどこで多く蒸散が行われているかを調べられるかを考える。 ・まずは自分の言葉で説明を書き、その後班の中で意見を聞きあう時間を設ける。	○頭を柔らかくし、自由な発想で意見が出てくる雰囲気をつくる。
③ジャンプの課題 ○ワセリンで気孔をふさいだ実験を紹介し、植物のいろいろな場所で蒸散の量はどのようになっているかを考える。	○机間巡視を行う中で、班の中で核になる生徒(できている生徒・戸惑っている生徒どちらも)に声をかけ、話を聞き、それを班で共有する。
④まとめ ○植物は、多く気孔があるため葉の裏側で多く蒸散を行っていることを知る。	